

3. 品川駅 えきまちコンセプト

品川駅 えきまちガイドライン策定の背景

- 品川駅周辺は、GL2020において、「これからの日本の成長を牽引する国際交流拠点・品川」が目指されている。
- 複数の都市基盤施設や大規模建築物の整備が予定されている。

品川駅周辺地域の特性とポテンシャル

- かつては豊かな地形・自然とまちがつながるエリアであり、現在も一部崖線や緑、水辺空間がある。
- また、その時代の先端を担う多様な交通モードや、様々なものづくり・先端技術等の技術革新（イノベーション）を発信してきた。

継承 × 革新
Timeless × Innovative

SHINAGAWA
Integrated City

品川駅を中心として、三つのまちがこれまで培われてきた自然や歴史を継承し、それぞれの個性を深めながら新たなまちに生まれ変わっていきます。そして、この三つのまちを、品川駅えきまちとして、一つに結び付け、統合していくことで、新たな文化、技術などの革新を創出し発展し続けていきます。世界とも結ばれるこのまちは、人々を引き寄せ、「国際交流拠点・品川」として日本の成長を牽引していきます。

Hospitality Cityのイメージ

地形等に沿って豊かな緑地が配され、ホテルや国際的な会議室、モール等の集積によって国内外の人々を迎え入れる香港中環（セントラル）やシンガポール等



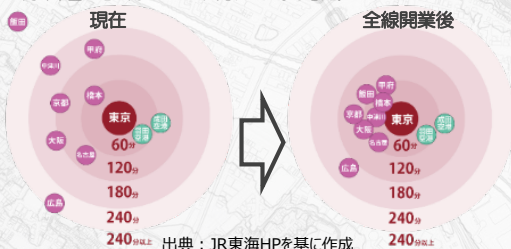
©2021 Google
Hong Kong Central etc.
出典: Google Earth



©2021 Google
Singapore etc.
出典: Google Earth

リニア中央新幹線開業による三大都市圏の誕生

- 東京一名古屋間が40分、東京一大阪間が67分に。
- 首都圏・中部圏・近畿圏の三大都市圏が同一の経済圏となり、都市人口は約8,200万人になる想定。
- 同都市圏の地区内GDPは3.2兆ドルになる想定。



北側 Experiment

- #鉄道車両基地跡地
- #新しい複合市街地
- #次世代モビリティ
- #線路上空人工地盤広場
- #高輪ゲートウェイ駅

西側 Hospitality

- #次世代モビリティ
- #次世代型交通ターミナル
- #複合ターミナル
- #国際的なビジネス
- #地下鉄新駅
- #産線・緑・坂
- #宴会場 #エンタメ
- #伝統あるホテル
- #歴史資源

東側 Technology

- #リニア中央新幹線
- #次世代モビリティ
- #東海道新幹線
- #日本を代表する情報・ものづくり企業
- #海・運河 #DTC
- #職住近接コミュニティ

品川駅
Shinagawa Terminal

約40~70分
約15分

大阪・名古屋
羽田空港
(国内・アジア・世界)

Experimental Cityのイメージ

車両基地等の鉄道用地跡地による大規模な都市更新によって、新しい複合都市が形成されたハドソンヤードやキングスクロス等



©2021 Google
Hudson Yards etc.
出典: Google Earth



©2021 Google
Kings cross etc.
出典: Google Earth

Tech Cityのイメージ

テックシティ構想でロンドンのシリコンバレーと称されるイーストロンドンや、巨大なハイテク、イノベーション、ソーシャルメディア企業の集積地とするシリコンバレー等



©2021 Google
East London etc.
出典: NY TIMES公式HP



©2021 Google
Silicon Valley etc.
出典: Google Earth

△標高について 出典: 国土地理院地図を基に作成